

令和8年度
当初予算編成方針

財政部

令和7年10月

本市の財政状況～令和8年度の財政見通し～

【歳入】

- 賃金上昇等の影響により、市税が増加する見込み。
- 歳出の増に伴い、地方交付税が2.0%の増となる見込み（地方財政収支仮試算）。
- 暫定税率廃止など、税制改正の動向による影響を注視する必要がある。
⇒インフレ局面にあり、一般財源をいかに有効に活用していくかが求められる。

【歳出】

- いわき再起動の第2幕として、「まちづくりの経営指針」に基づく取組みを推進。
- 施設・インフラの老朽化対策や、頻発・激甚化する災害への対応など、公共事業を拡充。
- 労務単価や資材単価の上昇に対し適切に対応。
- 市民利便性の向上や業務効率化に資する構造改革の取組みを加速。
⇒財政調整基金の取り崩しが必要と見込まれる。

基本方針

令和8年度は市制施行60周年を迎えます。100年目のいわきの姿を思い描きながら、様々な分野における挑戦を力強く支えていくことで、ウェルビーイングなまちづくりを実現するため、以下2点の基本方針に基づき、令和8年度予算の編成に取り組むこととします。

① 「まちづくりの経営指針」に基づく政策の推進

「まちづくりの経営指針」のもと、人口減少や少子高齢化、担い手不足、公共施設等の老朽化、頻発・激甚化する自然災害、地域の活力の低下など、本市をとりまく様々な事象に対し、すべての分野でベースとなる「人づくり」を着実に推進します。

- ◎ 次世代を育てる【教育・子育て・担い手】
- ◎ 命・暮らしを守る【防災・医療/健康・暮らし】
- ◎ まちの魅力を高める【まち・環境/GX・地域交通】
- ◎ 豊かさを創る【産業・農林水産・観光文化スポーツ】
- ◎ 構造改革・DX

② 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

中長期的な財政見通しに立ち、人口減少社会にあっても、行政資源を課題の解決と未来への投資に再分配することで、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進します。

- ◎ 市税等の収納率向上や、未利用財産の処分、基金の効果的な運用に取り組むなど自主財源の確保を推進。
- ◎ 市債は、可能な限り発行を抑制。
- ◎ 職員一人ひとりが改革のエンジンであるという意識をもち、従来の発想にとらわれず、改善や見直しを徹底的に推進。